

多様な森林の育成のために

人工林を天然更新で広葉樹林へと誘導できるのか？

開会にあたって

開会挨拶 駒木貴彰（森林総合研究所 研究コーディネータ）

主旨説明 田内裕之 (森林総合研究所 森林植生研究領域 領域長)

講演

広葉樹林化の意義を森林生態学から考える

清和研二（東北大学農学部教授）

天然更新の可能性を今ある人工林から判断する

田中 浩（森林総合研究所九州支所研究チム長）

GISによって広葉樹林化の適地を抽出する

平田泰雅（森林総合研究所森林管理研究領域研究チーフ長）

現在の更新基準を考える

～明日に繋がる広葉樹林化とは～

田内裕之（森林総合研究所森林植生研究領域長）



パネルディスカッション

司会 谷口真吾（琉球大学農学部准教授）

日時 3月8日 (月) 13:30—16:20 開場13:10

場所 石垣記念ホール 港区1-9-13 三会堂ビル9F
入場無料

連絡先：

独立行政法人森林総合研究所
森林植生研究領域内事務局

E-mail: bl_pro_admin@ffpri.affrc.go.jp

Tel/Fax: 029-829-8222

*当日参加も歓迎いたしますが、準備のため、あらかじめの参加ご連絡を上記にお願いします。

プロジェクトホームページをご覧ください
検索サイトで

広葉樹林化

検索

クリック！

主催 独立行政法人森林総合研究所
農林水産省農林水産技術会議事務局
後援 林野庁

千代田線・丸の内線
国会議事堂前駅
(3番出口徒歩7分)



*本シンポジウムは、農林水産省実用技術開発事業「広葉樹林化のための更新予測及び誘導技術の開発」における中間成果を発表いたします。